

当初予算審査特別委員会
委員長 黒川 悟議員

令和4年度予算を徹底審査

当初予算審査については、議長を除く議員全員による当初予算審査特別委員会を設置し、活発な質疑を行いました。主な質疑を要約してお知らせします。

一般会計

問 オンデマンドバスの導入時期は。

答 現在、福祉バスハピネス号から町全域をカバーするためにオンデマンドバスへの移行を計画中で、令和5年2月から実証運行を開始し、2月、3月はハピネス号との併用運行を実施予定。その後、4月以降に切り替える計画。

問 町の広報誌の印刷製本費が昨年度より増額しているがその経緯は。

答 業者と長期継続契約5年の単価契約で行った。



町民憲章パンフレット

また、近年の世帯数の増加に伴い毎年約100部ぐらいは増冊している。

問 町民憲章モニタメント作成業務委託事業について、どこに設置するのか。

答 現在、検討中である。

問 ふるさと納税寄附金事業の目標金額が前年度を下回っている要因は。また、目標を達成するための方策は。

答 福岡県産あまおうの競争が自治体間で激化してきた影響が大きい。

新たな取組は関東地方での電車内広告や寄附金の活用事例の紹介、ダイレクトメールの発送等を行っていく。



「河原のしずく」販売所

問 「河原のしずく」の水をふるさと納税の返礼品にしては。

答 今後、検討していく。

問 町立保育園の民営化の進捗状況および待機児童の現状は。

答 町立保育園の民営化は令和2年4月に貴船保育園、令和4年4月からは柳原保育園が「柳原ぶらす保育園」になる。町立の早見保育園、原田保育園は残る。待機児童の状況は令和2年度当初26名、令和3年度当初40名、令和4年度では町立保育園の民営化も進み解消でき

問 一本松公園やその他の公園の整備管理体制はどのように行われているのか。

答 一本松公園については、トイレの整備も終わり、巡視および清掃業務等は民間業者に委託している。また、バンガローはかなり老朽化しているため活用方法を検討中。その外、町内には94か所の公園・広場があるが、利用者が少ないのが現状である。今後は現在ある資源を有効活用しながら魅力ある公園造りを目指す。

賛成討論

鳴海 圭矢議員

本予算案は経常的な経費が基本であり、情報システム共同化事業におけるシステム改修業務委託料の計上など、骨格予算であることを踏まえて賛成とする。

(全員賛成で可決すべきものと決定)

当初予算審査特別委員会

特別会計

後期高齢者医療会計

問 コロナ禍による収納率への影響はないか。また収納体制はどうなっているのか。

答 1月末の収納率79.94%、前年同月で79.99%で微減となっているが、コロナの影響は見受けられない。収納業務は財政課で担当し、民間委託による4人体制となっている。

問 後期高齢者医療の対象被保険者数は。

答 令和4年1月末で4489人。

問 県内で一番高い一人当たりの医療費対策は。

答 生活習慣病の発症予防と重症化予防が大切。健診やコミュニティでの

介護予防教室やスロージョギングを実施して生活習慣病予防の拡充を図りたい。

反対討論

鳴海 圭矢議員

後期高齢者医療制度は長生きするほど経済的な負担が重くなるという悪制であるため反対とする。

(賛成多数で可決すべきものと決定)

国民健康保険会計

問 令和4年度の特定健康診受診率の目標は。

答 令和2、3年度はコロナ禍で低下したが、令和4年度は39.1%を目標としている。

問 国保の資格証、短期証の発行状況は。

答 資格証はコロナ禍により令和2、3年度は発行していない。短期証は令和2年度は432件、令和3年度は現時点で460件となっている。

問 他町と比べて保険税が高いと言われる。一般会計からの繰り入れを増額して保険税を下げられないか。

答 保険税を下げる目的での一般会計からの繰り入れは国の指針に反する。町としても考えていない。

問 特別交付金、保険者努力支援分の増額の理由は。

答 収納率の向上、医療費適正化の取組、保健事業の取組等に対して交付されるもので、当町の取組が評価され増額となった。被保険者一人あたりの交付額は県60市町村のうち13位。

問 国保税は生活に重い負担となっており、町独自の引き下げを要求して反対とする。

賛成討論 安川 禎幸議員
職員の努力により安定した事業運営を行っており、細部に配慮された予算措置がなされているため賛成とする。

賛成多数で可決すべきものと決定

上水道事業会計

問 水道料金が高いのは福岡地区水道企業団(以下「企業団」という)からの受水量が多いのが原因。企業団と交渉できないか。

答 一水道事業体のみでは交渉が難しいため、今後は福岡地区全体で考えていきたい。

問 浄水場の業務委託は水道事業の民営化につながるのではないか。

答 浄水場の業務委託は職員の退職による一時的なもの。現時点で水道運営に関する民営化は考えていない。

問 これまで最も多く他の自治体に水を融通した際の自己水源率は。

答 令和元年で、自己水源率は36%だった。

問 一本松公園やその他の公園の整備管理体制はどのように行われているのか。

答 一本松公園については、トイレの整備も終わり、巡視および清掃業務等は民間業者に委託している。また、バンガローはかなり老朽化しているため活用方法を検討中。その外、町内には94か所の公園・広場があるが、利用者が少ないのが現状である。今後は現在ある資源を有効活用しながら魅力ある公園造りを目指す。

賛成討論

鳴海 圭矢議員

本予算案は経常的な経費が基本であり、情報システム共同化事業におけるシステム改修業務委託料の計上など、骨格予算であることを踏まえて賛成とする。

賛成多数で可決すべきものと決定

反対討論

入江 政行議員

水道料金の引き下げのため今後の企業団との交渉を要望して反対とする。

(賛成多数で可決すべきものと決定)

下水道事業会計

問 工事発注時期は早ければ請負率が下がっていく。発注時期の考え方は。

答 なるべく早い時期に発注して年度末には終わらせたいと考えている。

問 宇美東小学校前の下水道整備が遅れている原因は。

答 地形、河川等の関係で検討が必要のため。工事の時期は現在のところ未定。

問 本年度の下水道普及率の目標は。

答 本年度は繰越工事があり数字は出ないが、令和2年度においては88.2%となっている。

(全員賛成で可決すべきものと決定)